

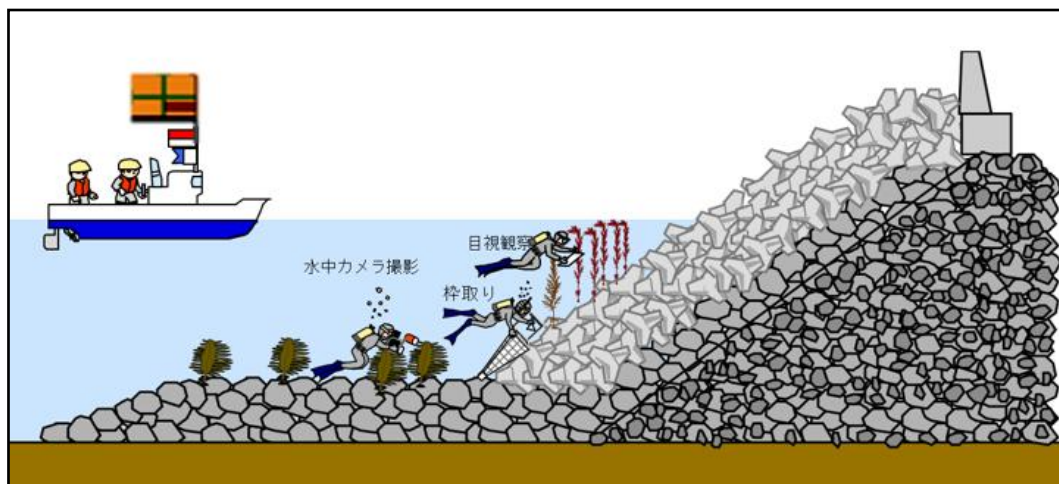
(別添 01)

### 関西国際空港島 藻場調査について

- 調査実施日：2025 年 3 月 10 日～13 日、18 日、19 日、22 日～24 日
- 調査範囲：1 期空港島護岸（延長 10.2km）、2 期空港島護岸（延長 14.6km）
- 調査方法：ダイバーによる潜水目視観察を行い、着生する海藻の種類とその被度区分（濃密生、密生、疎生、点生、痕跡程度の 5 段階）を記録した。
- 調査範囲において、約 200m 毎に護岸と直交する代表測線を設定し、測線を中心とする水平延長 200m 幅の範囲を観察した上で、その平均的な分布状況を代表測線の結果として記録した。鉛直方向には水深 1m 毎の層別に観察・記録をし、緩傾斜石積護岸においては平均水面付近から傾斜部及び水平部、直立護岸においては平均水面付近から水深 10m 程度の海藻が生育している範囲を観察層としている。

### 海藻の被度区分

被度区分	状態	被度
5	濃密生	81~100%
4	密生	51~80%
3	疎生	21~50%
2	点生	5~20%
1	痕跡程度	5%未満

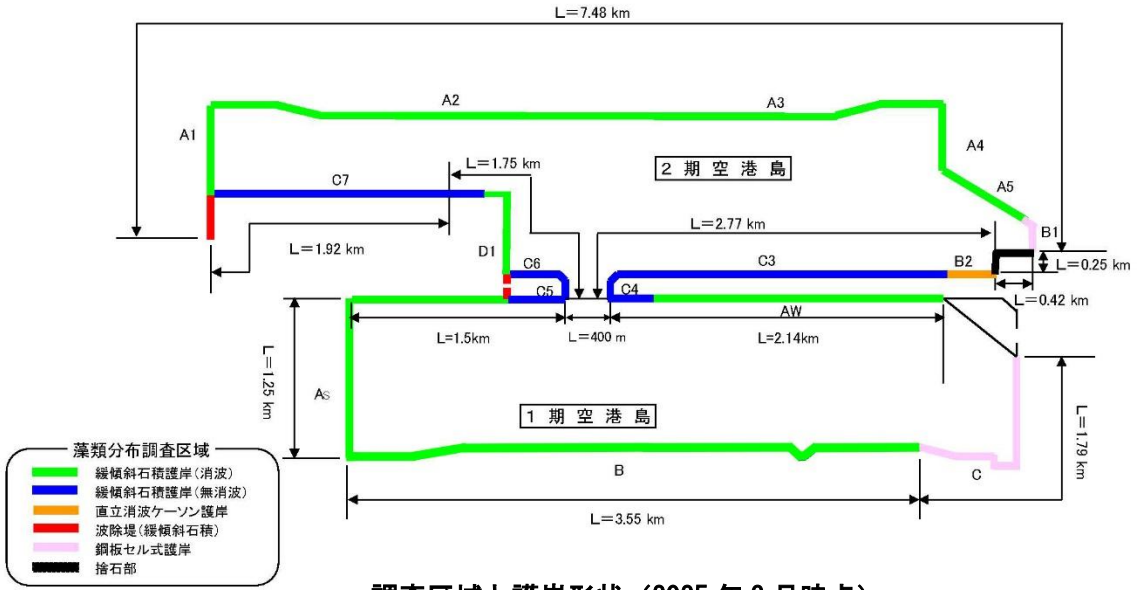


作業概略図

(別添 01)

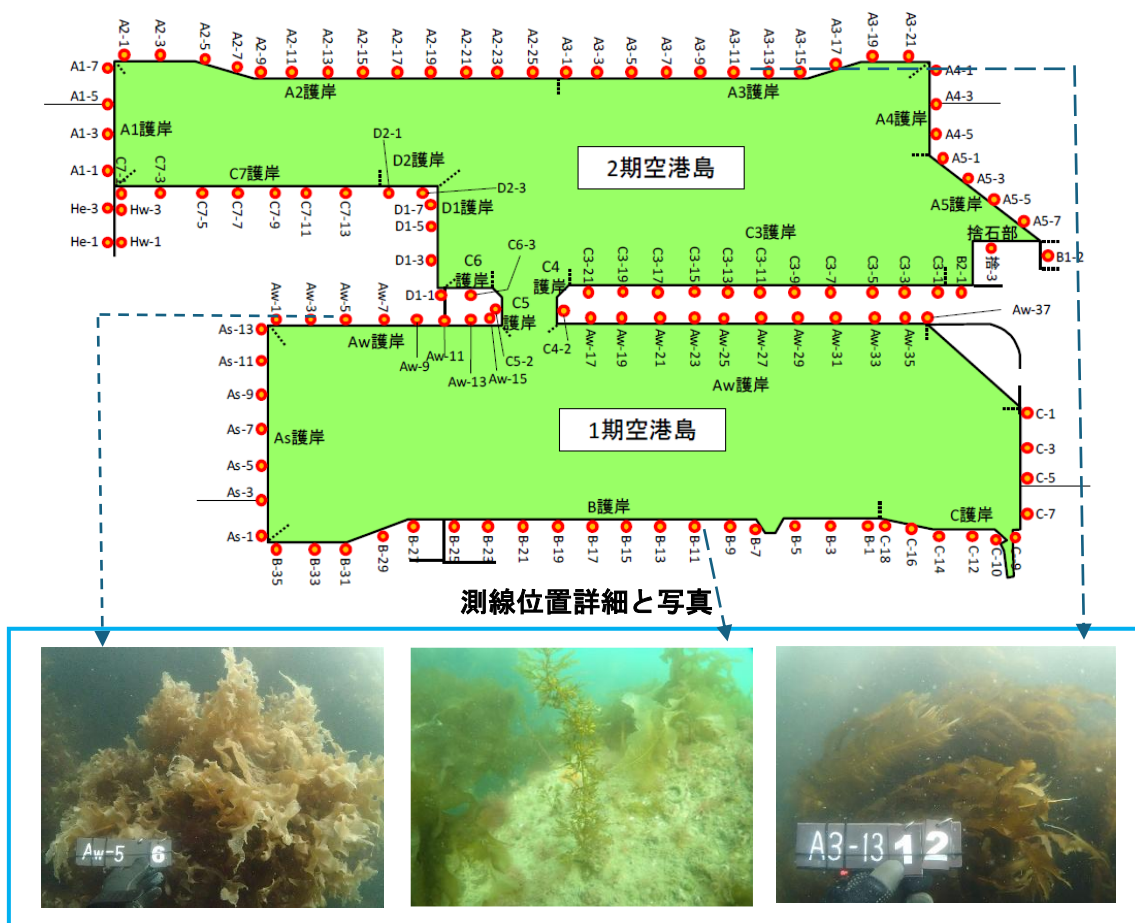


## 関西国際空港島と調査測線



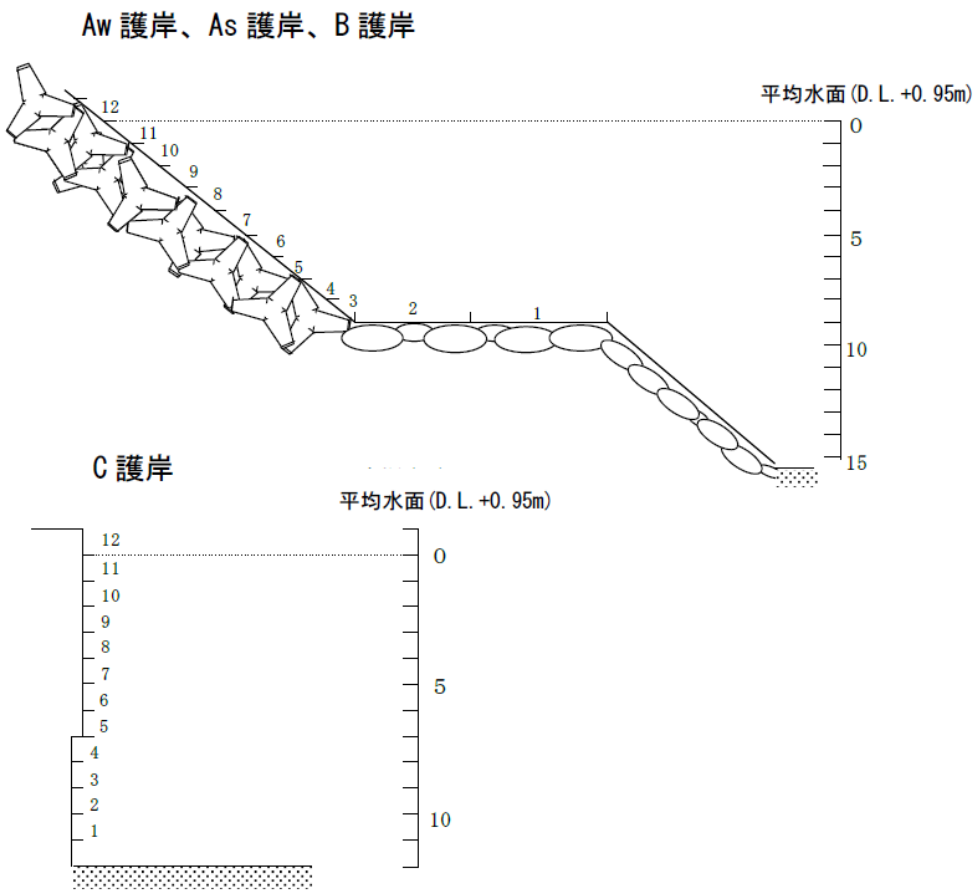
### 調査区域と護岸形状（2025 年 3 月時点）

(別添 01)



(別添 01)

○ 1 期空港島

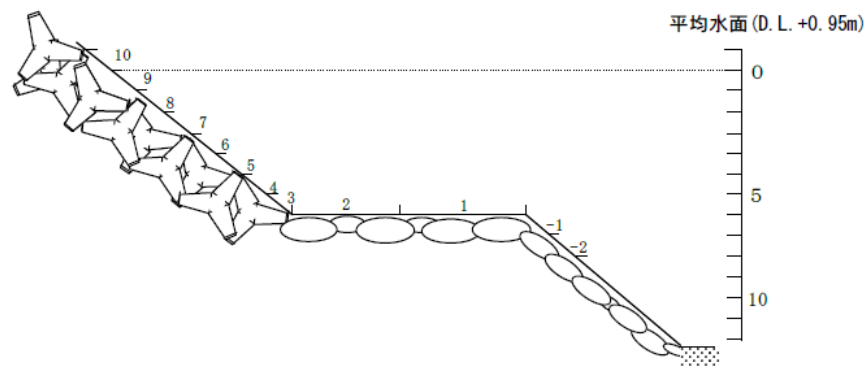


1 期空港島 護岸断面と観察層

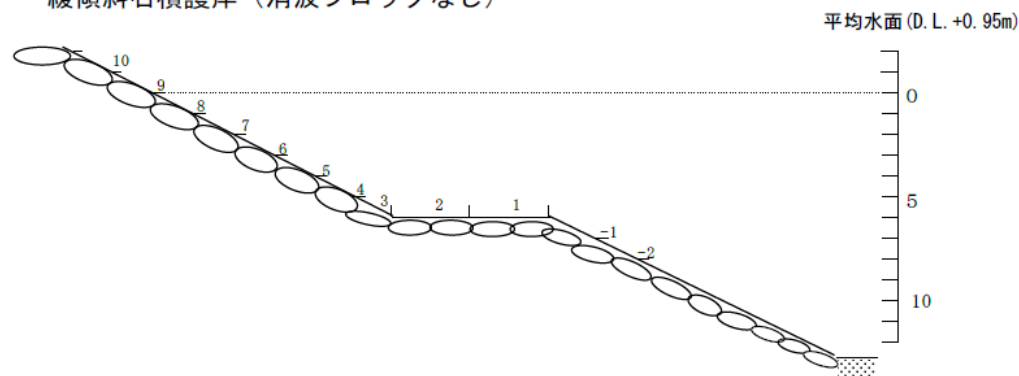
(別添 01)

○ 2 期空港島

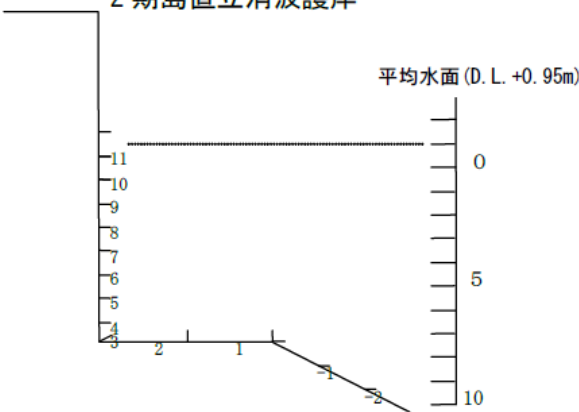
緩傾斜石積護岸（消波ブロックあり）



緩傾斜石積護岸（消波ブロックなし）



2 期島直立消波護岸



2 期空港島 護岸断面と観察層